



## 実りの秋を迎え刈り取り 新嘗祭献穀抜穂祭

献穀田に選定された北学田の南坂明憲さんの水田で9月14日、今秋皇居で行われる新嘗祭に献上される米の抜穂祭が、農業関係者など約60人が参加して執り行われました。当日は、さわやかな秋空のもと神事が滞りなく行われ、関係者に見守られる中、早乙女姿の女性7人が実った稲穂を丁寧に刈り取りました。耕作者の南坂さんは「皆さんの熱意でこのように立派な献穀米が生産できたことを、献納の際にお伝えしたい」と話していました。

## 心と心つながる喜び 広川さんが全国手話スピーチ大会で奨励賞

町内在住の広川祐和さんが8月29日に東京都で開催された「第32回全国手話スピーチ大会」で奨励賞を受賞しました。小学5年から手話をはじめ、現在は「くりやま手話の会」に所属。覚える単語の多さに苦労しながらも「初めて手話が通じたときの感動が忘れられない」と週一回の活動を続けてきました。広川さんは「手話の魅力は心がつながったときの喜び。これからも、たくさんの人とのコミュニケーションを楽しみたい」と受賞の喜びを笑顔で話してくれました。



## 食と健康で元気が一番 第42回消費者まつり

栗山消費者協会が主催する「第42回消費者まつり」が8月30日、「食と健康で元気が一番」をテーマに勤労者福祉センターで開かれました。栗山赤十字病院の真井睦子管理栄養士が講師になり、糖分を控えた料理を実演。ほかにも、さまざまなブースが用意され、大勢の来場者でにぎわいました。会場を訪れた80代の女性は「毎年、手作りの作品を見るのを楽しみにしています。それぞれに工夫がされていて、とても参考になります」と話していました。

## 功績をたたえ叙勲 元町議の故泉勝文さん

町議会議員を3期12年間務め、7月に74歳で亡くなられた泉勝文さんへの特別叙勲（旭日単光章）の伝達式が8月27日、役場応接室で行われました。泉さんは平成3年に初当選。平成15年まで町議として住民自治の振興に力を尽くしました。伝達式には、妻の陽子さん、長男の尊文さん、次男の善友さんが出席。椿原紀昭町長から勲記（賞状）と勲章を受け取りました。尊文さんは「立派なものをいただいて、父もきっと喜んでいると思います」と話していました。



## 待望のサケ来たる! 魚道調査で遡上確認

夕張川を上るサケの障壁となっていた農業用取水施設・栗沢頭首工に今年3月完成した魚道「サーモンロード」。この魚道で9月5日、初めてサケの遡上が確認されました。見つかったのは体長約70センチのメスのシロサケ1匹。魚道を管理する札幌開発建設部の委託を受け、環境コンサルタントのエコテックが評価検証を実施したところ、定置網トラップにかかりました。調査に立ち会った町ハサンベツ里山計画実行委員会の高橋慎事務局長と一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長は大喜び。高橋さんは「今後、雨煙別川で産卵するサケを見られる可能性がでてきました。非常に楽しみ」と話していました。



## 笑顔で元気なまち目指す 健康寿命延伸のまちづくり宣言

町民一人ひとりが健康で笑顔あふれるまちを目指そうと9月5日、椿原紀昭町長がカルチャープラザ「EKi」で「健康寿命延伸のまちづくり宣言」を行いました。これは「栗山町第6次総合計画」並びに「第1期栗山町健康増進計画」に基づくもので、椿原町長は「体の健康だけでなく、生きがいをもって幸せに暮らす“健幸”を目指し、町民、その家族、行政の3者が支え合っていきましょう」と会場に集まった約200人に呼び掛けました。

## 雄大な風景とグルメを満喫 北海道そらちグルメフォンド

北海道そらちグルメフォンドが8月30日に行われ、参加者は栗山の豊かな田園風景の中を走り抜けました。このイベントは、雄大なロケーションとおいしいグルメを楽しむもので、台湾をはじめ道内外から約600人が参加。エイドステーションでは、栗山ダムでくりやまコロケ、日原メロン、完熟トマトジュース「三姉妹」、谷田の日本一きびだんごセットを、継立特別会場で特製手打ちそばを提供し、参加者は地元のグルメを堪能していました。



■平成27年度 全国統一防火標語 **無防備な 心に火災が かくれんぼ**

住宅用火災警報器の点検  
平成23年6月より、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。町内でも設置するお宅が増えてきましたが、適切に機能するためには維持管理が重要です。万が一の際にきちんと作動するように、月に一度は住宅用火災警報器のお手入れと作動確認をしておきましょう。

**秋の火災予防運動**

10月15日(木)から31日(土)まで、全道一斉に秋の火災予防運動が実施されます。この機会に、身の回りの火の元を点検したり避難口を確認するなどして火災予防に対する意識を高め、尊い生命と貴重な財産を火災から守りましょう。

これからの季節は空気が乾燥します。また、暖房器具などの火気を取り扱う機会が増えることから、1年を通じて火災が発生しやすい季節になります。十分に注意しましょう。

**消防からのお知らせ**

【問い合わせ】  
南空知消防組合  
消防署 ☎0150

●お手入れ  
住宅用火災警報器の本体に付いたホコリが溜まると、火災を感じにくくなることや誤作動をおこすことがあります。最低でも年に1回は乾いた布でホコリをふき取りましょう。

●作動確認

本体の点検ボタンを押す、もしくは点検用ひもを引くことで異常の有無を音声案内などで知らせてくれます。

※まだ設置していないお宅は、全寝室および階段室(2階に寝室がある場合)に設置しましょう。ご不明な点や、ご心配なことがあれば消防署までご連絡ください。

平成27年度 秋季消防演習日程

分団名	地区	日時	場所
第1分団	栗山	10月17日(土) 14:00~	栗夢広場
第2分団	角田	10月17日(土) 15:00~	角田小学校 グラウンド
第3分団	継立	10月18日(日) 13:30~	継立分遣所前

**秋季消防演習**

第1分団、第2分団、第3分団の秋季消防演習を行います。演習中は、車両のサイレンが鳴ることがありますので、火災と間違わないようにお願いします。

北海道消防協会表彰受賞

**栗山めぐみ幼稚園幼年消防クラブ**



栗山めぐみ幼稚園(園成真生子園長)の幼年消防クラブ(69人)が、北海道消防協会定例表彰(優良消防関係団体)を受賞しました。同クラブは、

平成3年に幼児への火災予防の普及を図ることを目的に設立。毎年、老人福祉施設を訪問し火災予防のPR活動を行うほか、防火ビデオ学習や濃煙体験などを行うなど、幅広い活動をしてきました。園長は「表彰を受賞して、あらためて園児に対する災害や防災教育の必要性を感じました。これからもクラブ活動を続けていきたいです」と話していました。

**栗山地区女性防火クラブ**



栗山地区女性防火クラブ(古林むつみ会長:クラブ員22人)が、北海道消防協会定例表彰(優良消防関係団体)を受賞しました。同クラブは平成5年に設立。毎年、火災予防運動での街頭PR活動を行うほか、防災訓練や出初め式への参加、独居老人宅への訪問を行うなど、地域密着型の活動をしてきました。古林会長は「クラブが発足して22年目を迎え、近年はクラブ員の高齢化もあり活動に参加する人数が少なくなってきました。もっと会員を増やして今後も活動を続けていきたいです」と話していました。

平成5年に設立。毎年、火災予防運動での街頭PR活動を行うほか、防災訓練や出初め式への参加、独居老人宅への訪問を行うなど、地域密着型の活動をしてきました。古林会長は「クラブが発足して22年目を迎え、近年はクラブ員の高齢化もあり活動に参加する人数が少なくなってきました。もっと会員を増やして今後も活動を続けていきたいです」と話していました。

困ったら一人で悩まないで

**秋の特設行政相談を開催します**

10月19日~25日「行政相談週間」

【日時・場所】

- ①日時/10月20日(火) 10:00~12:00  
場所/南部公民館
- ②日時/10月23日(金) 10:00~12:00  
場所/総合福祉センター「しゃるる」

【相談内容】

年金、登記、道路、河川、窓口サービスなど役所の業務についての要望、意見をお聞きして改善を図ります。※相談はいずれも無料(秘密厳守)です。

■定期相談も開催しています

- 毎月第2月曜日  
時間/10:00~12:00  
場所/カルチャープラザ「Eki」
- 偶数月第1火曜日  
時間/10:00~12:00  
場所/角田農村環境改善センター



行政相談委員とは・・・総務大臣から委嘱を受けた民間有識者で、住民の相談相手として、国の仕事に関する苦情や要望を受け付け、その解決を図る行政相談業務を行います。



行政相談委員 窪 統央さん  
松風2丁目 ☎72-2779



行政相談委員 片山 孝さん  
角田 ☎72-1577

【問い合わせ】

町総務課広報・防災・情報グループ ☎73-7501

こんにちは！

**私たちが栗山青年会議所です。**

「グローバル」ーおもてなしの心でー  
今年、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会グローバルビジョン育成委員会委員長として出向しています山形です。昨今では「グローバル」という言葉を目にする機会が増えましたが、この言葉は造語でグローバルバリエーション(地球規模化)とローカリゼーション(地域化)の相反する2つを併せ持つことで世界規模で地域を考え行動することを指します。今、人口減少や地域経済の低迷、地域活力の低下などさまざまな課題を抱える一方、外国人観光客の数も年々増加し、日本では1000万人を超え、北海道においても100万人を超えるなど、アジアを代表する観光大国と言えます。そして、2020年に開



催される「東京オリンピック」を控え確実に進む国際化に対して、外国人観光客を誘致することが札幌、函館、旭川などの観光都市のものだけではありません。私たちにあっては、歴史と文化が外国人にあっては、外国人にとって大変魅力であり、栗山町に外国人観光客?という方も少なくないと思えますが、栗山町においても可塑性を秘めていることを委員会活動を通して私自身

感じました。その反面、皆さんが気になる宗教や文化の違いによる外国人との価値観の違いや言語の壁は決して大きなものではないと考えます。私たちがはじめるおもてなしの心で外国人との相互理解を深めながら、魅力あふれる自然や食、文化や歴史といった宝によって、さらに魅力的なふるさと栗山になることを切に願っています。



【申込先・問い合わせ】  
町保健福祉課  
健康推進グループ  
☎ 73-2256

シニアレジャー  
COPDってどんな病気？

COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、「たばこ病」ともいわれるように、主に喫煙で起こる「肺の生活習慣病」です。

近年、COPDの患者数、死亡者数ともに世界中で急増しており、日本でも患者数の増加が見られています。

喫煙を開始して20年目ごろから発症するケースが多いといわれていますが、自覚症状が乏しい、認知度が低いことから、治療の開始が遅れ重症化している現状にあります。

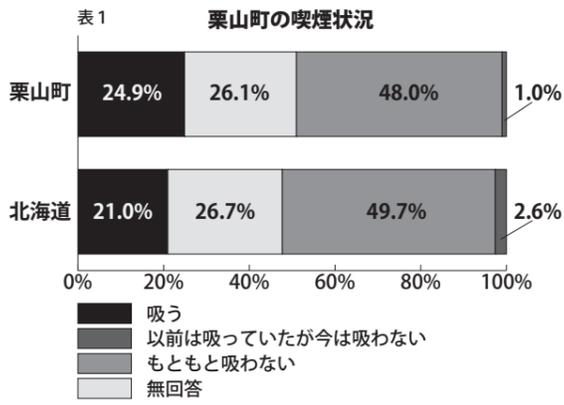
患者の90%以上が喫煙者

表1は、平成26年度に栗山町が実施した「健康意識調査アンケート」と、平成23年度に北海道が実施した「道民調査」の結果をグラフ化したものです。

表2 COPDはこう進む！特徴的な症状 ※20歳で喫煙を始めた場合

	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
特徴的な症状	痰がからむ咳	息切れが現れる	息切れの悪化 咳・痰の増加	咳・痰・息切れが急に悪化
症状・病状の詳細	○風邪をひいていないのに痰が出る ○咳き込みながらたばこを吸う ⇒ごくありふれた症状なので軽く考えがちな時期	○重い物を持った時や階段で息切れが強くなる ○風邪をひくとなかなか治らないと感じることもある ⇒「年のせい」と思われ、病院受診の必要性を感じにくい	○平地を歩く時でも息切れが起こるようになる ○同年代の人と同じ速さで歩けない	○着替えや洗面など日常動作でも呼吸困難がみられる ⇒日常生活に支障・制限が出る ○肺がんや心血管疾患、うつ病などの併存症がみられることもある

グラフから、栗山町の喫煙者の割合は全道より高くなっていることがわかります。  
COPDは、たばこの煙に含まれる200種類以上の有害物質を吸い込むことで、肺を構成する細胞が炎症を起こし、壊され、呼吸が苦しくなります。



患者の90%以上が喫煙者か、かつて喫煙していた人です。病状が進行すると、寝たきりになったり、外出時は酸素ボンベが必要な状態になります。他人のたばこの煙を吸い込む受動喫煙も、COPDの原因の一つとなっています。

COPDは予防できる病気です

COPDは、表2のように長い時間をかけて徐々に進行する病気であり、そのままにしておくと、着替えなどの日常生活動作でも息切れするようにになります。

WHO（世界保健機関）では、「COPDは予防・治療ができる病気」と位置付けられています。早期の段階では自覚症状が乏しく、息切れが出ていたとしても「年のせい」と思い、見逃されることが少なくありません。

早くに病気を発見し、適切な治療を受ければ重い症状を和らげることができ、息切れ程度の軽い症状であれば、禁煙ができれば肺機能が回復する場合もあります。COPDの予防・治療のためには禁煙が一番です。喫煙している人は、1日も早く禁煙することが大切です。長年たばこを吸っている人もしくは吸っていた人、喫煙していませんが表2のような症状がある人は、呼吸器科でCT検査を受けることをお勧めします。

高齢者インフルエンザ予防接種費用の助成額を増額します！

インフルエンザウイルスには種類があり、大きな流行の原因となるのは、A型とB型です。

今シーズンからインフルエンザワクチンがインフルエンザの3種類（A型2種類+B型1種類）に予防効果があつたものから、4種類（A型2種類+B型2種類）に予防効果があるものになります。

これによって、B型の両方が流行したとしても、十分に予防効果を発揮することができるようになります。

ワクチンの変更により、医療機関での接種費用が増額される予定であり、町では次のとおり助成金額を増額します。

【助成金額】  
1000円 ↓ 1500円

※生活保護世帯は全額助成します。  
※接種費用から助成金額を控除した額を医療機関にお支払いください。

※町内の医療機関で接種した場合に限りです。

- 【対象者】  
①65歳以上の町民  
②60歳から65歳未満で、心臓・腎臓・

呼吸機能・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害（身体障害1級相当）がある方

【接種期間】  
10月1日（木）～12月31日（木）

インフルエンザを予防しよう！

インフルエンザは患者のせき、くしゃみなどで出されたウイルスが、口や鼻から体の中に入ることによって感染します。これからの季節は、インフルエンザの流行が心配されますので、日頃からの予防をお勧めします。

インフルエンザに からないためには

- 流行前に予防接種を受ける
- せきエチケットとしてマスクを着用する
- 外出後は手洗いをする（アルコール消毒が効果的）
- 室内は加湿器などで適度な湿度を保つ
- 十分な休養とバランスのよい栄養をとる（体の抵抗力を高める）
- 流行期の人混みや繁華街への外出を控える

献血のお知らせ

- 【期 日】10月27日（火）  
【場所・時間】  
○南空知消防組合消防署  
午前10時00分～10時45分  
○北海道介護福祉学校  
正午～午後1時  
○北海道内田鍛工（株）  
午後1時30分～2時20分  
○栗山町役場  
午後2時40分～4時30分

がん検診のお知らせ

- ◆11月の検診  
【期 日】11月13日（金）  
午前7時50分役場集合  
【場所・検診機関】  
北海道対がん協会（札幌がん検診センター）  
※役場から無料バスで送迎  
◆12月の検診  
【期 日】12月19日（土）  
【場 所】  
総合福祉センター「しやるる」  
【検診機関】結核予防会  
【受診できる項目】  
特定健診・生活習慣病予防健診・いきいき健診・各種がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳）  
※詳細は「保健サービスガイド」をご確認ください。

インフルエンザワクチンは 万能薬ではありません

「インフルエンザワクチンを接種したのだから絶対にかからない」と思い込んでいる患者さんが多いことに驚かされます。ワクチン接種はあくまで予防であり、重症化しないための処置です。これからの季節は、インフルエンザだけではなく、さまざまな病気にかかりやすくなります。予防接種はもちろんですが、規則正しい生活とバランスの良い食事で、元気に過ごしてほしいと思います。

おおひがし ゆか 大東 有香 さん（北海道大学病院）  
栗山赤十字病院 臨床研修医師

